

研修報告書 No.16

所 属： 大阪医科薬科大学病院

研修先： 土佐市民病院

私は 2025 年 9 月 1 日から 9 月 26 日の約 4 週間、土佐市にある土佐市立土佐市民病院にて地域医療研修を行いました。ここでは、私が高知県の研修先病院で感じたこと、経験できたことについて報告します。

私の研修した土佐市立土佐市民病院は、高知県土佐市に位置する地域の中核病院で災害拠点病院にも指定されています。高齢化率が非常に高い高知県において急性期から慢性期まで幅広く診療を行い、近隣の診療所や介護施設とも密に連携をとる地域包括ケアシステムを構築しています。私が医師臨床研修している地域と大きく異なると感じたことは、一つの病院が担う医療圏の大きさです。病院では内科外来を担当しましたが、患者さんは土佐市内や近郊に在住されている方が多かったですが、中には車で 40 分から 1 時間ほどかけて病院に来られる患者さんもいました。また、独り身かつ 80 歳を超える高齢な患者さんも多かった印象でした。

土佐市民病院には内科・外科、脳神経外科、整形外科、耳鼻咽喉科、小児科があり、研修では幅広く学ぶことができました。研修内容としては外来診療（内科・外科・小児科・耳鼻咽喉科）、病棟業務、救急外来、手術、夜間当直を経験しました。内科外来では自身の診察室を受け持ち、初診の患者さんを診察、検査、処方から入院や次回外来の予約、他科へのコンサルテーション、帰宅の判断まで自身で方針を立て、上級医の先生へ確認を行うという自身の裁量に大きく任された診療を経験できました。普段の研修病院では経験することのできない外来診療を毎日担当し、また相談しやすい上級医の指導のもとでの外来診療は、非常に有意義でした。発熱や腹痛、めまいといったいわゆる common disease が多かったですが、普段の研修病院では経験することの少ない疾患を診断し、帰宅とする際の治療方針を考えることは想像以上に難しいことでしたが、優しい医療スタッフさんたちのサポートもありなんとか診療をすることができました。自身の診察した患者さんが入院となった場合は、自身が主担当医となり病棟診療を行いました。診療方針を上級医と相談し、無事退院へとなる経過を最初から最後までみることができ貴重な経験となりました。大学病院ではついついオーバートリージとなって検査をしすぎていましたが、今回の研修で丁寧に医療面接と診察を行った上で鑑別疾患を考えたことで、必要最低限の検査にて診断し治療に結びつける判断を行う力を養うことができたと考えています。来年度より内科医のレンジデントとして研鑽を積んでいく前に、このような様々な経験をすることができたことは高知に来て研修をして一番良かったと感じています。

生活面でも高知県は非常に自然豊かであり、休みの日には四国カルストや仁淀川、桂浜な

どの美しい景色を見に行きました。また、食事では高知を代表する食材のカツオをはじめ、多くの日本酒や農産物を堪能しました。夜には、土佐市内の飲食店へ行き地元の方々と交流することができました。とても心温かく迎えていただき、第二の故郷ができたように感じています。

県外からの地域研修の受け入れ機会をくださった高知医療再生機構のみなさま、そして受け入れてくださった土佐市民病院、温かく指導してくださった指導医の先生方、スタッフの皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。